



332-F 地区 ライオンズクラブ一覧表

能代市

3R1Z 能代(秋田) 1961.6.14

山本郡

3R1Z 琴丘(秋田) 1980.12.16

南秋田郡

2R2Z 秋田湖東(秋田港) 1994.4.15
2R2Z 大潟ウイサーク 設立準備中

男鹿市

2R2Z 男鹿(秋田中央) 1965.9.22

秋田市

1R1Z 秋田(青森) 1960.10.15
1R1Z 秋田千秋久保田(秋田中央) 1966.3.21
1R1Z 秋田矢留(秋田千秋) 1969.3.26
1R1Z 秋田落(秋田矢留) 1975.3.22
2R1Z 秋田中央(秋田) 1963.10.7
2R1Z 秋田山王(秋田矢留) 1975.3.22
2R1Z 秋田佐竹(秋田落) 1978.7.15
2R1Z 秋田グリーン(秋田佐竹) 1980.2.24
2R1Z 雄和(秋田グリーン) 1982.4.3
2R2Z 秋田港(秋田中央) 1971.6.26
2R2Z 秋田なごみ(秋田港) 2008.2.25

由利本荘市

1R2Z 本荘(秋田) 1965.2.5
1R2Z 本荘舞鶴(本荘) 1976.11.13
1R2Z 大内(本荘) 1985.6.2
1R2Z 由利(本荘) 1991.2.3
1R2Z 西目(本荘) 1996.6.29
1R2Z ゆり本荘(本荘舞鶴) 2005.3.13

湯沢市

5R2Z 湯沢秋田(横手) 1977.12.11
5R2Z 雄勝・小野小町(横手) 1978.6.4
5R2Z 稲川(湯沢秋田) 1980.11.9



日本ライオンズ各地区分布図

336 33336-A 徳島・高知・香川・愛媛
336-B 鳥取・岡山
336-C 広島
336-D 島根・山口・隠岐

337 337-A 福岡・対馬・壱岐
337-B 大分・宮城
337-C 佐賀・長崎
337-D 熊本・長崎・沖縄



What's Lions Club

Lions Club of Akita JAPAN.



331 331-A 北海道・道央
331-B 北海道・道北、道東
331-C 北海道・道南

332 332-A 青森
332-B 岩手
332-C 宮城
332-D 福島
332-E 山形
332-F 秋田333-A 新潟・群馬

333 333-B 茨城・栃木
333-C 千葉330-A 東京

330 330-B 神奈川・山梨・大島・新島
330-C 埼玉

334 334-A 愛知
334-B 岐阜・三重
334-C 静岡
334-D 富山・石川・福井
334-E 長野

335 335-A 兵庫・東
335-B 大阪・和歌山
335-C 滋賀・京都・奈良
335-D 兵庫・西

We serve



—われわれは奉仕する—

奉仕活動の場は最大限、あなたの力を持っている人々がいます

ライオンズクラブは、世界200以上の国または領域、145万人、日本では11万人を超える会員で構成されている、世界最大の奉仕団体です。「ウィ・サーブ(われわれは奉仕する)」をモットーとして掲げ、世界の国々でさまざまな奉仕活動に取り組んでいます。



創始者
メリビン・ジョーンズ

アメリカ・シカゴでライオンズクラブが誕生したのは1917年。38歳の実業家メリビン・ジョーンズが、助けを必要としている人々に手を差し伸べ、より良い地域社会をつくろうと、奉仕を目的とした全米組織を設立したのが始まりです。彼の理念は瞬く間に世界に広がっていきました。

世界のライオンズクラブの現状

地区	クラブ数	会員数
世界	48,240	1,453,294
日本	3,818	114,671
332-F地区(秋田)	45	1,349

(2018年6月30日現在)

ライオンズクラブの歴史

■1917年 ライオンズクラブ創立

アメリカの実業家メリビン・ジョーンズが、世界への奉仕を目的としてライオンズクラブを創立。その理念は多くの人の心をとらえ、世界各国にクラブが結成されていきました。

■1945年 国際連合憲章の起草に助力

ライオンズは、国際連合(国連)が協力を求めてきた最初の非政府組織の一つとして、国際連合憲章の起草に助力しました。それ以来、ずっと国連の仕事をサポートしています。

■1952年 日本初のライオンズクラブが結成

日本で最初のライオンズクラブ、東京ライオンズクラブが結成されたのは1952年。日本が国際連盟への加入を認められたのが1956年ですから、ライオンズの世界ではこれに先んじて、日本が国際社会の一員になりました。35番目のライオンズ国でした。現在では世界第3位のライオンズ国となっています。



献血

ライオンズクラブが駅前や商業施設などで献血の協力を呼び掛けているのを見たことがある人は多いだろう。それもそのはず、献血推進活動は、日本各地に3000余りあるライオンズクラブの大半が何らかの形で携わっている、日本ライオンズを代表する事業の一つだからだ。このような献血推進の努力は日本各地のクラブにより、それぞれの地域に合った形で進められた。その努力が認められ、1990年、昭和天皇のご遺金を元に日本赤十字社で創設された「昭和天皇記念献血推進賞」の第1回受賞団体に、ライオンズクラブが選ばれたのである。第26回献血運動推進全国大会では、日本赤十字社名誉副総裁である皇太子殿下からライオンズクラブの代表者へ表彰状が授与された。



ライフスキル
教育プログラム

ライフスキル教育プログラムとは、どのようなライフスキルをどのように教えるかを発達段階に合わせてまとめたもの、先生が使う“台本”的なものです。「クエスト」はアメリカにある教育研究機関の名称で、このプログラムを開発し、まとめたところです。つまり、ライオンズクエスト『ライフスキル教育プログラム』とは、クエストという教育研究機関が開発し、ライオンズクラブが世界中で普及活動をしているライフスキル教育プログラムということを意味します。



受益者数

248,993,525

青少年

受益者数

75,229,717



34,235

クラブが
青少年支援を実施

環境

受益者数

74,145,179



28,076

クラブが
環境保護を実施

視力

受益者数

37,858,536



28,527

クラブが
視力保護を実施

飢餓

受益者数

54,956,923



28,321

クラブが
食料支援を実施

糖尿病

受益者数

6,803,171



14,186

クラブが
糖尿病奉仕を実施

ライオンズの活動は、100周年を迎きました。

2014年7月から2018年6月にかけて、世界中のライオンズとレオは人道奉仕の1世紀を記念しました。100周年を記念する動きは空前の盛り上がりを見せ、1917年に国際協会が誕生した街、米国イリノイ州シカゴにおける第100回ライオンズクラブ国際大会で頂点を迎えました。

人道奉仕の100年を記念するため、記念期間の奉仕受益者数を1億人にしようと、世界中のライオンズに呼びかけました。ライオンズが本領を發揮したことで、その数は優に2倍を超え、2億4,800万人余りの人々が奉仕を受けたのです。

ライオンズクラブのアクティビティ(主な活動)の一部をご紹介します!



Lions Clubs International
FOUNDATION

LCIFとは、ライオンズクラブ国際財団のこと、通称・奉仕の財団と言われています。

私たちの使命は、人道奉仕事業をおこない地域と世界に希望をもたらすライオンズとそのパートナーの取り組みを交付金を通じて支援することです。



LCIF災害援助

自然災害が起きた時、ライオンズは真っ先に駆けつけて支援します。災害関連の交付金を役立てれば、ハリケーン、洪水、火事、その他の大災害によって破壊された地域社会に、もっと多くを提供できます。災害援助活動の多様な段階に対応できるよう、LCIFでは交付金の選択肢を幅広くご用意しています。東日本大震災の際も、世界中のライオンズから、支援とボランティアの輪が広がりました。



LCIF人道支援

ライオンズの人道支援活動はよく知られ、100年以上にわたる歴史があります。LCIFには類まれな特権があります。それは、クラブが世界にとって最も有意義な事業に直接役立てられるよう、大規模な資金を提供することです。ライオンズが見極めた世界の最も重大なニーズをLCIFが支援する形で、両者は協力して人道奉仕活動を行い、世界中の人々の暮らしを変えています。



LCIF青少年支援

LCIFが財団として行うあらゆる活動にとって、青少年は不可欠です。私たちが支援するあらゆるプログラムと事業では、常に青少年に配慮し、その声が反映されるようにしています。ライオンズは世界中で、恵まれない青少年を支援する活動や、青少年に奉仕の機会を与える活動に献身的に取り組んでいます。